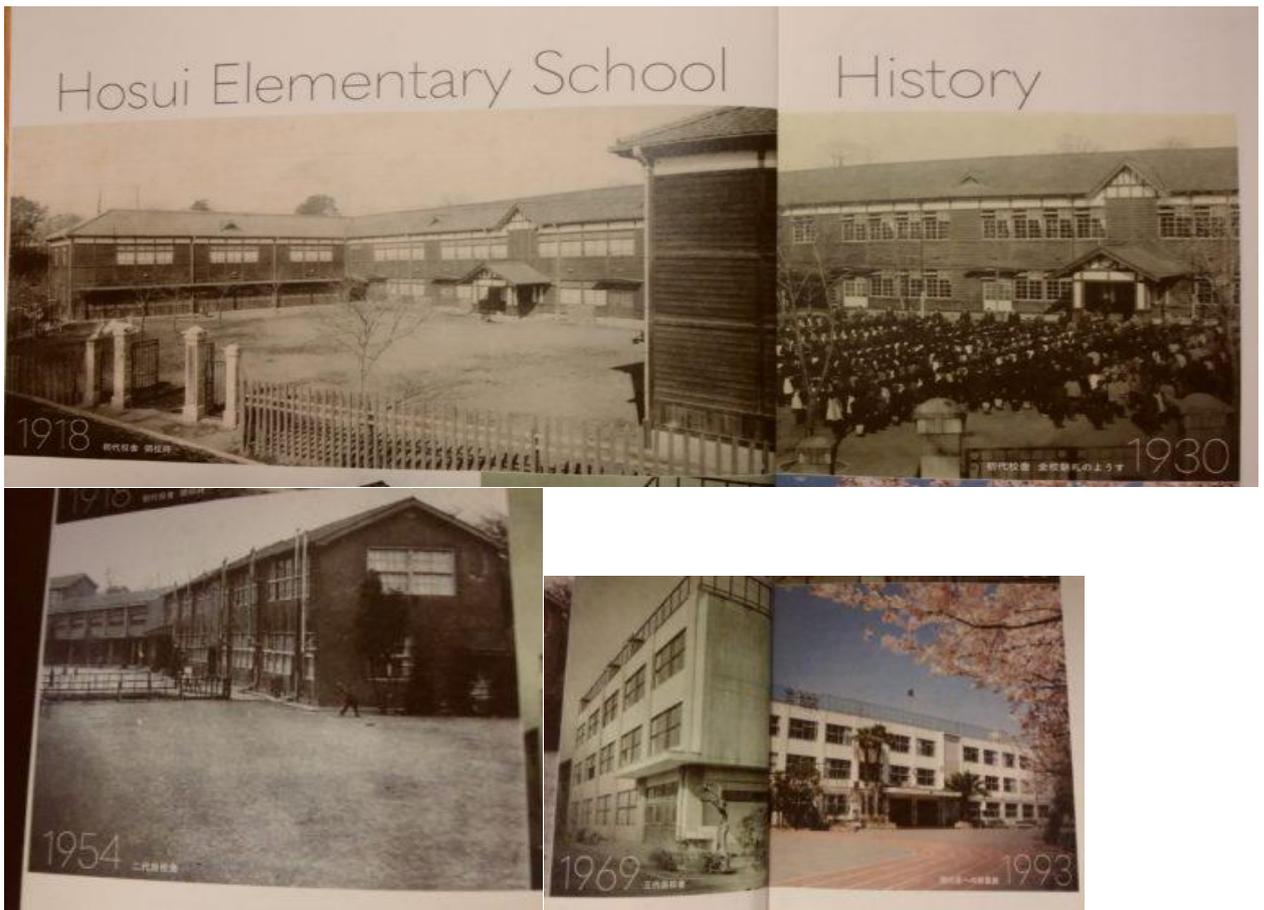


芳水小学校

芳水小学校は、大崎の歴史に欠かせない明電舎初代社長重宗芳水氏・重宗たけ子氏が、学校が不足して困っているのを見かねて創立され、大崎町の町長だった松原伝吉氏や町の人々の協力で開校の日を迎えました。校名は、重宗芳水氏の名前を頂き、「芳水尋常小学校」として、大正 7年12月2日、9学級570人でその産声をあげました。写真は、開校百周年記念誌にある歴代校舎の様子です。



(新校舎)